成果報告書(本文)

政策研究センター	リサーチ・プロジェクト 成果報	告書				
提出日:	2019/2/28					
申請者(リーダー):	氏名 高木 佑輔	職名	助教授			
<u>リサーチ・プロジェク</u>	·卜名:					
(和文)	フィリピンにおける政策連合の	政治―フィデル・ラ	モス政権を事例として			
(英文)	The Politics of Policy Coalition in the Philippines: A Case Study of the Fidel Ramos					
	•		-			
期間(yyyy/mm/dd):	2018/6/1	から	2019/3/31	_1年間		
共同研究者:	氏名	職名	所属機関·部局名	(備考)		
共同研究者1	Filomeno Sta. Ana	共同設立者	Action for Economic Reform			
共同研究者2 共同研究者3 共同研究者4						

リサーチ・プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、政策連合という分析視角の意義を明確にすることである。政策連合についての考察は、これまでほとんど解明されてこなかったフィリピンの政治秩序の特徴を理解することにもつながる。本研究が注目する政策連合は、政党ほど包括的ではないが、政治家個人ほどバラバラでもない政治の分析単位である。政策連合分析は、政党システムが不安定な政治体制における政治秩序の特徴を考察する分析枠組みを創造する試みでもある。

研究成果の概要(800字程度):

2017年11月に開催された国際会議(The 4th Philippine Studies Conference in Japan)においてパネル (Make a Difference: Policy Making and Governance in Restored Philippine Democracy)を組み、口頭報告を行った。報告論文においては、ラモス政権を事例として、政策過程を支える制度の実態把握を試みた。既存研究では、政党システムの弱さや大統領のリーダーシップの非連続などに注目が集まる傾向がある。そのため、ラモス政権の改革についても、グローバリゼーションのような構造的な要因が強調されてしまい、実際の政策過程についての理解が深まっていなかった。こうした状況に対し、筆者の報告では、連合政治という枠組みに依拠して、政策過程の分析を行った。連合政治とは、政党の役割を重視する政党政治と、政治家個人の創意に注目する個人の政治との間に位置するような政治の在り方である。連合政治においては、特定の政策を実現するため、政治家、官僚、政府外の専門家や市民社会組織が協力する点に注目した分析がなされる。本研究では、大統領補佐官となったジョエル・アルモンテの役割に注目し、ラモス政権の改革を支えた政策連合の存在を解明した。また、パネルにおいては、税制改革、ミンダナオ和平や沿岸警備隊の設置など、いくつかの政策課題を取り上げて分析した。同会議には、米国やフィリピンから多くの参加者が集まり、フィリピン研究の最先端を知る機会となる。我々のパネルにも、20名以上の聴衆が集まり、活発な議論が展開された。研究を進めていく中で、ラモス政権が生まれた背景である1986年の政変についての既存理解を見直す必要があると感じ、英語論文として出版した。さらに、こうした研究を踏まえつつ、フィリピン政治研究を支える研究体制や研究の動向をまとめて、研究展望を執筆、学会誌において出版した。

研究成果

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

当初、Criselda Yabes氏との共同研究を行う予定であったが、研究を進める過程でFilomeno Sta. Ana氏との共同研究を進めるよう方針転換し、広島大学で開催された国際会議に招へい、筆者の編成したパネルでの口頭報告を行っていただいた。

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。) (必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載) ※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。 ※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。 ※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

	著者	標題	雑誌名 /所収図書の編者・図書名・ 出版者等	巻·号 /章·節	発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	² 査読 (有=1)	0 国際共 著 (yes=1)	DOI	オープン アクセス (yes=1)
1	Yusuke Takagi	Coalition politics and the contested democracy in the Philippines	Hsin-Huang Michael Hsiao ed. Middle Class, Civil Society and Democracy in Asia. NY: Routledge	Chapt er 6	2018	102	·118	1			
2	高木佑輔	研究展望 21世紀のフィリピン政治研究-構造から制度、制度から人、人から地域へ		47号	2018	68	-80	1			
3							-				
4							-				
5							-				

図書・ ※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。 ※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1				

2

3

4

5

ロ頭報告・学会発表等: ※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。 ※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

	報告者等	² 作 論題	学会·研究会名等	報告年月日	開催場所
1	Takagi Yusuke	Policymaking without Stable Party System: Revisiting the Fidel V. Ramos administration and its legacies	The 4th Philippine Studies Conderence in Japan	2018年11月16日	広島大学
2	高木佑輔	フィリピンにおける紛争解決と和平交渉—共産党の 事例研究	社会ソリューションイニ シアティブ (SSI)「共生 対話の構築」プロジェク ト研究会	2019年1月10日	大阪大学

3

5